

ミニトマト (ツインクル)

情報提供：山梨県山梨市在住 S様 (25052) 2005年2月7日

すべてのハウスに於いて樹勢も良く、均一的な味のトマトが出来ました。
糖度と酸味のバランスが良く、実も締まり、日持ちが特に良くなっています

特長

- トマト本来のコクと味を出しています。
- 糖度、酸味のバランスが良く、食味も大きく向上しました。
- 実が締まって日持ちが良いです。
- 根張りが良く、樹勢が旺盛で、実にも長いうぶ毛が多く付いています。
- 実の割れた部分に、ER使用以前には発生したカビが、ER使用後は発生しなくなりました。

栽培地状況

- 今作分は、2004年8月上旬より土作りからスーパーERを使用しています。
- ハウス55アールに作付けしています。
- 今年も桃とブドウの全てにスーパーERを使用していきます。

施用状況

<2004年～> 10アール当たり

		日付	希釈倍率	施用量
土作り		8月上旬	2500倍	2000ℓ
定植前の苗箱にドブ漬け		8月下旬	1000倍	
作物への散布	1回目	9月下旬	2000倍	500ℓ
	2回目	10月下旬		
	3回目	12月下旬		
収穫時期		10月頃 ~ 翌年8月頃		

《ドブ漬けの方法》 スーパーER希釈液を容器の中に入れ、その中に苗箱全部を浸す
 《土作りの方法》 堆肥とボカシを施肥し、水2トンに対してスーパーER700mlを希釈して灌水

生産者の声

- 生の活性液で、しかも使いやすいので自農場生産品には全て使用する予定でいます。
- 今年は試験的に使用した為に、現時点ではっきりとした収穫量はわかりませんが、農薬使用量は大幅に減少する見込みです。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。